



一週間の始まりは月曜それとも日曜なの

キリスト教の習慣では、日曜日が始まり

それぞれの家庭で使っているカレンダーは、戦後広まったもので、だいたい、日曜日からはじまっていた。これは、ヨーロッパやアメリカで使われていた、カレンダーの形式が、そのまま日本に持ちこまれたもので、日曜日は始まりとなっていたのです。

一週間が日曜日からはじまり、土曜日に終わるという考え方は、キリスト教の習慣によるものです。つまり一週間に一日仕事を休んで、神に感謝するという「安息日」を日曜日とし、それを週のはじめとしたわけです。日本のカレンダーも、多くが日曜日が始まりとなっていました。

第一日を仕事はじめとし、土日の休日をつづけて表記

しかし、休日を二日つづきに表記しておいたほうが見やすいとか、第一日を仕事はじめにしたいなどといったことから、ビジネス用の手帳などでは、月曜日を第一日としたようです。日本では利用しやすい形でのカレンダーが作られており、どちらがまちがいと、これが正しいというわけではなさそうです。（監修・保岡 孝之）

